

入間市女性防火クラブ

埼玉県入間市女性防火クラブ
会長 木村 佳代



高齢者に寄り添った
防火防災思想の普及を目指して

入間市女性防火クラブは、平成10年5月に発足し、今年で25周年を迎えます。女性のソフトな面を活かして、一人暮らしのお年寄りの方などの安全な暮らしのお手伝いが出来たらという思いで誕生し、現在19名のクラブ員で活動をしています。

主な活動内容は、11月～3月にかけて実施している、単身高齢者宅への防火訪問です。クラブ員2名と消防職員1名の計3名で訪問し、住宅用火災警報器の設置状況の確認や点検方法について周知するとともに、こんろ周りや暖房器具、コンセントの使用方法などを併せて確認し、住宅防火を推進する地域に根ざした活動を実施しています。

ここ数年は新型コロナウイルス感染症対策のため、従来の対面方式からポスティング方式に変更し、住宅防火に関するリーフレットや、ご高齢の方が見やすい防火診断チェックリストを作成し、当クラブで作成したりサイクル石けんなどと一緒

に配付しています。

また、消防関連行事における火災予防思想の普及啓発活動の他、毎年開催される、入間市消防出初め式では、徒列行進に参加するなど、幅広い活動を実施しています。

今後も、女性ならではの細やかな気づかいを活かし、地域の防火防災思想の普及を目指し、すてきな仲間と共に一歩ずつあゆみを進めて参りたいと思います。



宝塚市川面地区 自主防災会

兵庫県宝塚市川面地区自主防災会

川面地区自主防災会は阪神・淡路大震災の翌年の平成8年に宝塚市では最初に結成され、市街中央を流れる2級河川「武庫川」の左岸の9自治会で結成されました。現在は19自治会約2万人の地区となっています。組織的には、この地域で盛んな「地車：だんじり」まつりの比較的年齢層の若い3つの地車保存会（東、西、南）をベースに各自治会と結びついています。

防災会員は約150名で構成され、3つの分会（地車保存会と同じく東、西、南）それぞれに分会長、副分会長、そのもとに各班を配置しております。また、宝塚市の総合防災課と連携し地区防災計画を立案し、それに基づいた活動と「避難スイッチ」の啓発活動が我々の活動の2本柱となっています。避難スイッチとは、災害時に逃げ遅れの内容に様々な気象状況やその他の情報を知り、川や池の水害から避難するタイミングを前もって考えておくものです。

当防災会としては啓発活動等を通じて住民の方に少しでも理解していただく活動の一環としての勉強会や「川面地区防災新聞：防災スイッチだより」の地区内全戸配布を年間2回程度行っています。今後に向けては降雨時の夜間の水位確認や住民の方一人ひとりへの状況の伝達方法、行政との連携方法等多くの課題がありますが、少しずつ・たゆまなく解決に向けてできるところから活動を続けていきたいと考えています。

